

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043(222)7207番

99.4.20 No.4952

革マルJR東労の選挙闘争への介入を許すな

全ての組合員の皆さん!

99統一地方選も四月一八日告示を経て、決戦段階の闘いに突入した。全組合員・家族の総決起で、何としても中江、水野必勝を勝ち取ろう! われわれは、この選挙闘争の決戦段階に至り、革マルJR東労が、勝浦地区において、選挙に名を借りた動労千葉、国労等の組織破壊攻撃に出てきていることハッキリと見据えなければならぬ。
この姑息な攻撃を満腔の怒りを込めて粉砕し、何としても水野高位当選を勝ち取るうではないか。

ウンとデタラメのかたまりJR東労

革マルJR東労は、前回選挙で職制を出馬させ、勝浦運転区廃止、南房線の列車切り捨てを正当化させるため、選挙に介入し、会社・資本と一体の金権選挙を展開し、良識ある市民の眉をひそめさせたことは誰でも知っている。
今回も、同じ職制を「JR東日本」の代表です」と打ち出し、「JRと地域住民の共生」や「通勤・通学の利便性」「利用しやすい列車ダイヤ」などを、JR東労が取り組んでいるかのようなウソを並べたてて、市民をごまかそうとしているのだ。

職制をソイタテに家庭訪問

革マルJR東労が「選挙闘争」に名を借りて、「組合役員」をかたる職制を伴って「家庭訪問」していることの意味は何か。

それは、前回とちがってJR当局が全社的に革マルJR総連と一線を画したがっている情勢に焦り、「選挙にかこつけて」革マル分子

こんなデタラメを、国鉄・JR労働者として許せるか。

勝浦運転区廃止を動労千葉排除のために策動したのは誰か。

勝浦以南の生活列車をバタバタと切り捨て、中高校生の通学の足を奪ったのは誰か。

老人や病弱者の通院の足を奪ったのは誰か。

すべて、自らのセクト利害のためにJR東日本当局の尖兵として革マルJR総連がやったことだ。

五年も経たないうちに、「JRと勝浦の共存」などと言う破廉恥漢どもに、怒りを込めて反撃しなければならぬ。

を「関東動員」し、JR当局からもらった社員名簿で、国労、鉄産労の組合員宅を重点的に「ツブシ」
回っている現実を見れば、その狙いは明白である。

われわれの回答は水野高位当選

勝浦市内を東京ナンバーや群馬ナンバーの車で走り回って選挙になるのかどうかは地元の人なら誰でも分かる。
つまり、革マル分子の本心は候補者の当選なんかどうでもいいのだ。「国労解体闘争」方針の下に国労と鉄産労の組合員宅を訪ねることが彼らの真の狙いなのだ。

われわれの回答はひとつだ。

国鉄分割・民営化をセクトのために進んで受け入れ、国鉄労働者を裏切り、房総・勝浦から列車と運転区を奪った革マルJR東労の敵対を許さず、水野高位当選を勝ち取るのだ。
そのために、JR東労も含む他労組の組合員に猛然と働きかけ、全ての国鉄労働者の一票を水野へ獲得して欲しい。

真の狙いは「国労解体闘争」

市議会議員



は

JR東日本の代表です

JRと地域社会との発展を目指し奮闘します!

は、鉄道(JR東日本)と地域住民が共生するために、通勤・通学の利便性を図ると共に房総への観光振興を更に押し進め利用しやすい列車ダイヤを提供する政策提言をしています。

地域福祉の実現により、「豊かで住みやすい勝浦市」を目指し、市民のための市政づくりに奮闘します。

JR東日本は を支援します!

一週間10円右ノバで中国に小学校をつくろう!